

一般社団法人 山形県言語聴覚士会 会報

平成 29 年 2 月号

会長 挨拶

第 44 号会報に寄せて

一般社団法人 山形県言語聴覚士会
会長 田口 充

新年度が始まろうとしております。

改めて言語聴覚士の役割をまとめると、話す・聞く・食べる・・・こうしたことが病気・事故・先天的・加齢により問題が発生してしまった方に支援するのが言語聴覚士の役割です。しかし所属施設の機能や配属先によって専門性が大きく偏っているのが現状かと思います。例えば私の勤務先の鶴岡協立リハビリテーション病院は、失語症・構音障害・高次脳機能障害・嚥下障害を基本的な対象疾患としており、聴覚障害・発達障害等は深くかかわっておりません。おそらく山形県内の言語聴覚士は当院と同じようなスタイルで臨床を行っているところが多いかと思います。しかし、地域包括ケアシステムの構築に関わる中で言語聴覚士のすべての障害に対処できる能力はあるのが望ましいと思います。例えば障害を持つ方が自立した生活を行う際に聴覚障害があるがために自立支援がうまくいかないことが大いにあります。周囲の方々は言語聴覚士に的確なアドバイスを求めたいと思っていますが、その問題に対ししっかりと助言できる言語聴覚士は非常に少ないのが現状です。特定の専門領域のプロフェッショナルになるのも大変素晴らしいことではありますが、言語聴覚士としてすべての分野に最低限度の知識と技術は持っておきたいところであり、県士会としても地域から言語聴覚士を活用していただくための戦略的な視点・人材育成の視点でも会員の皆様に援助していく必要があると思っています。今年の 7 月には日本言語聴覚士協会が主催の全国研修会を本県で開催することとなりました。理事会の要望として認知症外来と聴覚障害の 2 本をテーマにいただきました。これは言語聴覚士が今後深く関わっていかねばいけない分野と予測してのテーマです。山形の会員の皆様の多数の参加を期待しております。

役員会 議事録

『H28 第 9 回』 日 時：平成 29 年 1 月 9 日 9：30～11：30 山形テルサ

参加者：田口、荒井、石川、伊藤、斎藤、横尾、千葉

- 内 容：①各部門からの報告
②地域包括ケア
③研修について
④役員選挙について
⑤記念誌発行について
⑥その他

『H28 第 10 回』 日 時：平成 29 年 3 月 4 日 15：00～17：00 山形大学医学部附属病院

参加者：田口、荒井、石川、横尾、千葉、伊藤、大友

- 内 容：①各部門からの報告
②地域包括ケア
③研修について
④役員選挙について
⑤記念誌発行について
⑥その他

地域ケア会議助言者資質向上事業

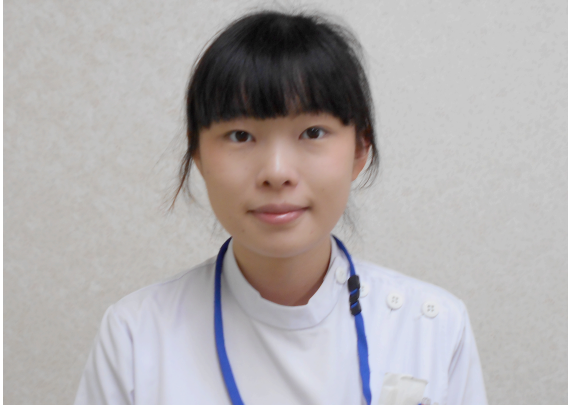
基礎講座・症例検討会

1月9日（月）、山形県自立支援型地域ケア会議助言者資質向上事業として、日本言語聴覚士会理事の黒羽真美氏を招き、「言語聴覚士の新たな活躍の場を求めて～地域づくりに参画する意義～」と題して、ご講演いただきました。山形テルサを会場に会員30名の参加がありました。協会としての取り組みや好事例などをご紹介いただきました。また、黒羽氏の講演に先立って、和光市の地域ケア会議を視察した新庄徳洲会病院の沼澤氏による視察報告会も行われました。

2月10日（金）、山形県自立支援型地域ケア会議助言者資質向上事業として、日本作業療法士会理事の佐藤孝臣氏を招き、「地域ケア会議における専門職の役割」と題して、ご講演いただきました。山形テルサを会場にSTに加え多職種から55名の参加がありました。言語聴覚士に限らず、多くの専門職にとって実りのある研修会になりました。

3月4日（土）、ビッグウイング会議室にて基礎講座及び症例検討会を開催しました。基礎講座1「臨床マネジメントと職業倫理」には23名、基礎講座5「協会の役割と機構」には21名、症例検討会には27名の参加がありました。症例検討会では、介護老人保健施設フローラ済生、公立高畠病院、鶴岡共立リハビリテーション病院より症例を発表していただきました。今回からの試みとしてより学会形式に近づけるため power point の配布は止め、抄録を配布いたしました。若いSTの方が参加者に多い中、他施設の取り組みや意見を聞くことができる良い機会になったのではないかと思います。次回検討会でも、多くの施設から演題の申し込みをいただきますようお願い申し上げます。

新人紹介



鶴岡協立リハビリテーション病院
梅木 彩季

私が言語聴覚士を目指したきっかけは、中学三年生の時にとある職業体験セミナーにて実際の言語聴覚士の方と会話した事でした。実際の現場での体験、詳しい仕事内容、やりがいなどを聞かせていただくことができ、「こんなおもしろそうな仕事があったのか、知らなかった。」と当時の私は思いました。

実際に言語聴覚士となって、患者様と関わっていく中で、話に聞いていた様にとっても楽しく、またやりがいを感じる事ができ、日々がとても充実しています。特に当院は摂食・嚥下障害患者に対するアプローチに力を入れており、大学の講義ではなかなか見ることができなかった実際のVE所見から学ぶことも多くありとても勉強になります。

まだまだ知識が足りない面が多々ありますが、自己研鑽を絶やさず、今度は私が次世代に言語聴覚士の良さを伝えていけるようになりたいです。

会計より

平成28年度の年会費が未納の方がいます。早急にお支払いいただきますようお願い申し上げます。また来年度より会費が7000円となります。お間違えのないようお願いいたします。

【平成29年度】

入会金：1000円（新規会員のみ）

会 員：7000 円

準会員：3000円

[振込口座] 振込支店名：山形銀行 文園（フミゾノ）支店

預金種目：普通預金 店番号：575 口座番号：213292

事務局より

☆新年度のST士会名簿郵送を希望される方は、事務局までメールもしくはFAXでご請求下さい。(所属とお名前をお願いします。各施設に1部の発送となります。)

☆県士会からの郵便物に関して、原則職場に送付させて頂いております。一人職場のかたにかぎり、ご自宅へ郵送希望をお受けしています。ご了承ください。

☆退会・変更届について

当会の退会を希望される方、職場や郵便物送付先や姓の変更等を申し出る方は、届出を事務局に郵送またはFAXにてご送付ください。

「入会届」「退会届」「変更届」は当会HPからダウンロード可能です。もしくは事務局にご連絡頂ければ、郵送にてお渡ししています。

☆当県士会は日本言語聴覚士協会の下部組織となっている為、できるだけ多くの会員の皆様に協会への入会をお願いしております。

問い合わせ先

一般社団法人 山形県言語聴覚士会事務局

〒990-2313

山形市松原 800-5

合同会社ヴォーチェ まなびのへやバンビーナ松原

TEL：023-674-6015 / FAX：023-674-6106

E-mail：gengoshikai@yahoo.co.jp